

良識ある保守主義・情報公開

# 吉田つとむ

町田市議会議員 4期連続トップ当選

＜編集発行＞

〒194-0011 町田市  
成瀬が丘 1-14-12  
サンホワイト E103-13  
自宅 042-795-7361(fax 兼用)  
市議会議員 吉田つとむ  
yoshidaben@gmail.com



## 京セラ電子投票機のデモ体験記

電子投票選挙のメカニズムは、紙の投票用紙に候補者名を記入する方法と異なり、モニターに表示された候補者名を選び、その中から一人を選択して確定をすれば投票となるものです。あるいは、適当な候補者が無いと判断した場合、確定せずに終了するという方法も選択肢があります。つまり、それは白票に相当します。これによって、投票の不明票が解消されることになります。紙に候補者名を記入する現在の方法では、候補者名の文字を判別することが困難な時があり、それを開票立会人や選挙管理委員という第3者が判別するものですが、あくまで推量の域で決めることになります。1票を争う選挙が時折ありますが、裁判で争うこともありますが、電子投票では上記のように不明票の発生は解消されます。

また、紙の投票では、候補者の姓や名だけが記入された場合、最終的には按分（あんぶん）する方法が採用されますが、電子投票では姓名を選択するので、按分（あんぶん）することではなく、どの候補者を選んだか投票の時点で確定することができます。実際に自分でも模擬投票体験をしましたが、投票の選択はとても簡単でした。タブレットのモニター画面に従い、投票をすると、データがメモリーに記録されます。



## 京セラ電子投票機の説明を単独で受ける

電子投票は、平成14年に岡山県新見市で最初に導入され、全国約20自治体で実施されました。しかし、その後は縮小傾向となり、それまで複数回実施してきた青森県六戸町も町長の退任を機に、平成28年最後にストップしました。大きな理由は、選挙の事務作業費として見込まれる費用とその対価が釣り合わないこと、もう一つは、一つのメーカーの機種の不具合事故（記憶媒体のサーバーが加熱して、途中で投票できない時間が生じ、人が帰ってしまった事例が生じ、裁判でその選挙が無効になって、再選挙が実施される例が起きた）が起きたため、関係者はこれで電子投票を忌避するようになったために、その後は電子投票が見送られるようになってきました。私はこれらの全自治体に出向いて電子投票の初回の実施状況を現地で見てきました。



一方で、令和2年に電子投票に関する技術的条件に関する改定が行われ、電子専用機以外の汎用機（タブレット）でも使用可能になりました。そうした中で、令和6年12月になって、大阪府四條畷市において市長選挙と市議補欠選挙に電子投票選挙が持ちいられました。市議補欠選挙が行われたのは市議の一人が事前に辞職したことによるものでした。私は、この四條畷市の電子投票選挙を11月の準備段階と12月の選挙の開票の当日と、2回に渡って、視察取材を行いました。

この電子投票を受注したのが「京セラ」でした。電子部品の製造で有名ですが、複写機をはじめ、各種の電子機器を作っていました。

製造した京セラ横浜事業所に出向き、説明を聞く

○支持政党なしの方々の代表＝吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

◎水耕栽培メロン 世界一決定戦を開催しよう！

町田市議会の無所属会派は、政党に所属しない議員3名で構成し、明快な議論を提起します。

インターンシップで若者育成の貢献

町田市議・完全無所属・良識ある保守

# 吉田つとむ



好評インターンシップは、欠かさずに続いている

## インターン体験記④岡田 愛海

第四回インターンシップでは、版画美術館の三つの分野に分かれた広報物についてお話を伺いました。展覧会に関するもの、体験講座に関するもの、芹ヶ谷公園で行われるイベントのもの…種類豊富な広報物を発行している版画美術館ですが、これらを刷るには各広報物の対象者を定める必要があるとのことでした。紙の高騰化に合わせ刷る量を調節するために、対象者や配布場所に合わせ、余らせすぎない枚数を考えねばならないそうでした。美術館が所持している多くの版画作品の保護や、展覧会の企画実施にも予算はかかります。美術館に足を運んでもらうのに大切な広報物を、限られた枚数で作成するにあたり気をつけている点は以下の通りでした。

展覧会の告知ポスター及びちらしはデザインから印刷まで外注しているため、掲示場所への配送などを含め、それに見合った部数の調整が必要なのだそうです。版画物の雰囲気を感じさせる体験講座のチラシは、デザインから印刷まで版画美術館で行なっています。子供の数は年々変化しているため、配布先の小中学校の人数を把握する必要があるとのことでした。版画美術館まつりやコンサートに関する広報物では、来場者の方全員へ行き渡るようにするため、余らせすぎずしかし足りなくならない枚数を意識しているそうです。改めて、何気なく見ている広報物にかけられた労力を、インターンを通して感じることができました。



横浜美術大学4年生 岡田愛海(第56期生)

## インターン体験記①露木 莉子

今回は、「町田市民文学館ことばらんど」にて、広報誌についてお話しいただき、また現在の展示を実際に見させていただきました。

私の在住している市には、文学館という施設はなく、初めて文学館を訪問しました。町田市民文学館では、純文学だけでなく絵本や短歌、落語など様々な側面から市民の「ことばのとびら」として機能しているというお話をさせていただきました。私は、広報紙やチラシでは、若い世代にビジュアルで興味をもってもらうための工夫や紙媒体とSNSとの兼ね合いについて興味を持ちました。対して、デザインを続けることも必要だというお話も興味深く、デザインを周知してもらうことも大事だということに納得しました。



また、実際に現在の「絵本の森でフルーツ狩り展」を拝見したところ、展示のデザインの工夫点や企画内容の意図が感じられ、とても面白かったです。そして改めて広報紙を見ると、限られた文字数の中でその展示に興味を持ってもらえるような言葉であったり、目に留まりやすいデザイン・レイアウトになっていることに気づきました。広報紙のデザインから展示まで一貫性のあるものになっていると感じました。普段は、なんとなく目にしている広報紙には様々な工夫が施されていることを実感しました。何気なく目にしているデザインに関心を持ち、気づきを得られるようにしたいと思いました。

昭和女子大学3年生 露木莉子(第56期生)

◎吉田つとむのインターンシップは、参加者との個別対応が特徴です。

◎吉田つとむのインターンシップは、社会人になった先輩インターン生との直線面談が大好評です。

◎一般企業就職が最大で、次いで公務員。弁護士が3名、医師も1名。

若い世代の育成に全力をささげる  
町田市議会議員(支持政党なしの方々の代表)

吉田つとむ



ブログ



個人HP



メールは  
左記を読込  
して送信



好評インターンシップは、第  
56期生がスタートしました。

## 第11回国際ドローン展で見たドローン



東京ビックサイトで開かれた国際ドローン展を見学する機会を得ましたが、最新無人機器を見ることができる良い機会となりました。

世界最大のドローンメーカーとなった「DJI」コーナーが特に大きく取ってありました。ドローン世界一にふさわしく、民生用の実用機が他機種並んでいました。後方の写真のものは、車両に積載したドローンポートからドローンを目的地に飛ばして、作業を終えて、元のドローンポートに帰ってくる。さらに、自分で給電を行うという自動化できるもので、ドローン自体を収納するようになっており、トラックで必要とする場所に移動できるものでした。大きさは手に抱えるほどのタイプのものの量産品でした。



これに比べ、日本のドローンはほぼ全部が試作品の展示であり、技術の差を感じました。

## インターン体験記③-2 岡田愛海

第三回インターンシップの続きとして、自治会・公共 Week について書かせていただきます。

こちらの展覧会を通して感じたのは、『生活に根付いているものの著しい進化』ということでした。

第十七回コンテンツ東京とは違い、ブースよりも展示物で興味を引かせる傾向にあり、目玉となるコンテンツをどのように魅せているのか、を意識して見て回りました。印象に残っているものとして、トヨタの最新デザイン車を配置し、実際に中へ入ってもらいながら解説をしていたブースがありました。スマートな近未来的外観デザインと極限まで広い車内という魅力を体感させることで、通常とは異なる内部構造の開発に成功していることを、言葉などは使わずに伝える体験型コンテンツ。周りの反応を伺うに、商品の魅力を最大まで感じさせられる広告方法なのだと感じました。生活に身近なものほど、経験を通すことでより理解してもらいやすいのは当たり前のことです。しかし、発案から実現までの間に出てきた多くの情報を簡潔にまとめ、初めて見る人に魅力を最大限伝えられる演出方法を考えるのは簡単なことではありません。卒業制作で絵本とその舞台を制作しようとしている身として、与えられたブースを最大限まで生かす配置や、人の目を引けるデザイン考案は学ぶことが多く、今後の制作に活かしたいと思えるインターンでした。



横浜美術大学4年 岡田愛海(第56期生)

◎ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始。2025年8月前半までに114名が参加しました。

◎ その内訳は、女子の参加者は76名、男子は38名となっており、女子は男子の2倍の人数となっています。

◎2025年夏季インターンシップ生の参加者は合計3名となり、今期の募集は終了しました。

## 町田市議会議員・ネット発信NO. 1

# 吉田つとむ

ユーチューブ動画 900 万回再生目前！



## 登記簿図書館の機能と需要

大田区蒲田に本社ビルを構える情報通信ネットワーク株式会社を訪ね、佐野秀光社長と面談しました。同社の登記簿図書館の機能は秀逸で企業の情報収集に多いに利用されているというものでした。根本は法務局より、安く、早く、登記情報を入手できるというものです。ちなみに、法務局は税込み 331 円を必要とするが、登記簿図書館を利用した場合、最新の登記情報で 330 円、登記簿図書館が保有する登記情報の場合は 308 円で販売されるというものです。法務局所有の情報を登記簿図書館が購入しそれを安く売っているわけですから、理論上はマイナスが発生するはずですが、1 件の情報だけで済むということではなく、複数の人が登記情報を必要とする、あるいは一度に新規情報と保有情報の双方を顧客が必要とするということで、この商売が成り立つわけです。

ただし、当初の情報収集は地図情報のトップ企業のゼンリンと同じく、先行投資となる人手を使った膨大な情報をデータ化したことにつき、そこから登記簿情報を販売するという業務を企業として成り立たせてきたのでしょう。不動産会社、あるいは銀行を始めとする金融機関への情報提供が事業になるというものでした。



## 伝統産業の久留米絨は堅実産業

福岡県、あるいは福岡市の特産品として、博多織、博多人形がありますが、それらは極端に需要が減り、業界人の中には、絶滅危惧種と自嘲する人もいるほどです。ただし、現実はずっと厳しく、2-30 歳代ではその存在すら知らない人が大半です。私も近年までそのようなことはまさかと思っていました。それは自分が過去に、その博多人形を地方の人形屋やデパートに卸す営業職をやっていた体験に基づくものです。もっとも当時も自分がその業界を退く以外の道はほとんどないほどの業界の衰退が起きていました。博多織はその前にピークが去り、50 年前には下り坂になっていました。それも急坂を転げ落ちていくほどでした。和装が極端に減少したのが原因です。



他方で、久留米絨(綿織物、藍染めが特徴)は和装として、その丈夫さからいち早く農作業用のモンペに使用され、現在でも園芸などの野外作業ではジーパンよりはるかに機能的なものになっています。さらに、現在では洋装の街着にも進出し、一着数万円で販売され好評を博しています。伝統産業も現在のマッチするものを開発すれば堅実に産業として生き残れるという手本を示していました。

◎町田市議会は定数 36 名(1 名欠員)。大多数はそれぞれの会派に所属しますが、会派に属しない諸派議員が 5 名です。吉田つとむは、「無所属」という 3 名の会派に所属。議員は原則「会派」単位に活動し、一般質問は個人で行います。

その会派「無所属」の 3 名は、採決において、自由に賛否を決める場合があります。